はじめに

朝晩の涼しさと、時折感じる心地よい風に、秋の訪れを感じています。ある子が「通学路の葉が少し紅葉していたよ」と教えてくれました。利賀の季節の移ろいを子どもたちも感じているようです。去年から利賀で暮らす継続生に利賀の好きな季節を聞くと、「秋が一番好き」と答える子が多くおり、紅葉した木々の美しさや、おいしい食べ物が魅力だと話してくれます。初めて迎える利賀の秋を楽しみたいと思います。

さて、8月末に白山登山へ行ってきました。登山中子どもたちは、開けた場所に出ると、向かいの山に「ヤッホー」と何度も叫びながら登っていきます。疲れている心身に気合を入れなおすかのように、大きな声で叫ぶ様子に、私自身も鼓舞されました。また、その声を聞いた登山客の方から「元気をもらったよ」とたくさん声をかけていただきました。子どもたちの元気な姿は、大人にパワーを与えると改めて感じた瞬間でした。利賀の皆さんにも元気いっぱいの山村留学生の活躍を応援していただけるよう、２学期も活動して参ります。よろしくお願いいたします。

山下　ひかり

【 活動カレンダー 】

8月

２０日　帰園
２１日　畑作業、川遊び
２２日　豆腐作り、沢登り
２７日　白山登山（～２８日）
３０日　ホームステイ入り

9月

９日　センター入り
１０日　海キャンプ（～１１日）
１７日　個人体験活動日
１８日　個人体験活動日
１９日　畑作業

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

8／21　川遊び・8／22　沢登り

２１日の午後は、利賀川で遊びました。魚を探したり水をかけ合ったりと、水遊びを満喫していました。少し上流に行って、急な流れに乗っている人もいました。

２２日は、百瀬川に流れ込む日尾谷という沢を皆で探検しました。ひんやりとした川の流れを「ここの流れ早い！」と水の勢いを楽しみながら登ったり、「俺は濡れたくない…」と浅いルートを探したりしながら、少しずつ登っていきました。600メートルほど登ったところでしばし川遊び。今度は流れに乗って川を下りました。日ごろの川遊びや山登りとは一味違う沢の楽しみ方を覚えることができました。

8／22　豆腐作り

地元のお母さんを講師にお呼びして、昔ながらの豆腐を作りました。水につけておいた豆を石臼でひき、にがりを入れながらゆっくり煮ます。なかなか石臼が上手くいかず、みんなで協力しながら豆を小さくしてから石臼へ入れるなど、工夫が見られました。お母さんに「にがりはこれくらい？どうやって食べるのがおいしいかな？」とたくさん質問をしながら、おいしい豆腐が出来上がりました。お昼に出来立ての豆腐をいただきました。

8／27・28　白山登山

１泊２日で白山（御前峰）を登りました。稜線からの景色や白山に自生する植物を楽しみながら歩いていたところ、登りの途中からは雨が降り出し、レインウェアを着ての山行に。歩き始めて、６時間 30 分で室堂に到達。建物が見えると「ついた！」と元気を取り戻し、駆け上がっていきました。その後は、室堂で自由時間。元気いっぱいに頂上に登っていく人もいました。夕食後には夕日を、２日目の早朝には日の出を拝もうとしましたが、曇りで見えず、「残念だな…」と話していました。２日目の午前中に全員で登頂し、「疲れた～！」と言いながら、無事に全員で下山を果たしました。

白山は金剛堂山の風景ととても似ているように感じました。山小屋は霧で囲まれていました。山頂に行くまでの道がものすごく楽しく、山頂からの景色はとてもきれいでした。でも、落ちたらおしまいだなと思い、少し怖かったです。（ 翠 ）

9／10・11　海キャンプ in 能登島

山だけではない北陸の自然を知ろう。ということで、石川県七尾市の能登島にてキャンプ活動を行いました。能登島は、利賀と地域づくり協議会同士に交流があるということで、紹介をしていただいた島です。

今年度のキャンプ活動としては初めての晴天となり、「おー！！海がキレイだ！」「すごい！」とテンションが高まる中、能登島へ上陸しました。

最初に行ったのは、海釣り活動。強風の中で悪戦苦闘しながらも夕飯のおかずとなる魚を釣るべく頑張り続け、15～20 匹ほどの石鯛の子どもを釣り上げることができました。

その後、海岸に面したキャンプ場へ向かいました。夕食後の夜の海岸では海ほたるも鑑賞することができました。

翌日は、朝釣りと海水浴をして、センターへと帰園。盛りだくさんな週末となりました。

始めて海でキャンプをしました。みんなで分担してご飯を作り、私は豚汁担当でした。時間もかかったし、大変だったけど、上手に作れたので、美味しかったです。とっても楽しかったので、また行きたいです。（ **日陽** ）

～ 雑草のようにたくましく ～

8/21　収穫

利賀に帰ってきた留学生の最初の活動は、畑作業でした。夏休みの間に、野菜も雑草も大きく育った畑から、ピーマン、ナス、オクラ、人参、枝豆を収穫しました。中には、食べるには育ちすぎているものも…。「いっぱいある！」とたくさん収穫できた枝豆は、さっそくその日の昼食からいただきました。

9/19　夏野菜の片付け

台風が来る前にということで畑の夏野菜を片付けました。ナス・トマト・オクラ・ズッキーニなどの株を引き抜き、支柱やマルチもきれいに片付けて土をならしました。雑草も抜いたので手のかかる作業でしたが「次どこやる？」と順調に進める留学生。13 人全員で協力した結果、あっという間に終えることができました。

保護者だより

利賀村の方々をはじめ山村留学生に関わる全ての皆さま、いつもお世話になっております。ブログなどで活動の様子も日々目にしています、ありがとうございます。

入園して約半年、尊人は変わってきたでしょうか？
3年生の夏に何もしないことを反省させる意味で「自分のこと出来るようになるまで離れて暮らすことにするよ」と叱ったところ「何それ面白そうじゃん、やってやるよ」というまさかの返事！これは外に出る適性があるかもしれないと色々調べている中で山村留学に行き当たり、3年目の挑戦で、ここ利賀での留学が実現しました。尊人の成長が留学をするに追いついただけではなく、体験留学参加などを通じて私自身が躾への期待より親元では出来ない経験をさせてあげたいという気持ちが強くなり、親の方もやっと留学をさせるに追いついた結果だと感じています。見透かされていたんですね…。

先ほどの返答もそうですが、尊人の発想はいつも予想外で、空を飛ぶのと海に潜るのはどっちがいいかとの問いに「僕は見たことのない世界に興味がある。だから海の中を見てみたい」と返してきた事があり感心してしまいました。
尊人は変わったか、それは帰省時の能動的な姿から十分に感じたので、今後は今まさに身を置いている見たことのない世界を存分に楽しんできてほしいです。そこで感じたことやそこでの気づきが彼のさらなる変化に繋がるのは間違いありません、たとえ片付けが苦手なままでも。
私にそう思わせてくれる、尊人の全てが誇りです。
これからもよろしくお願いいたします。

くま爺のつぶやき・・・

５月から一反ほどの畑を借りて野菜づくりを始めた。北海道の農家の子として生まれ、農繁期や休日はお手伝いをしたが、農業は素人同然である。お借りした畑は几帳面に草刈りが行き届いており、全て活用し雑草畑にしておくことはできないと自分に言い聞かせ、苗の育て方や栽培方法を調べ、農家さんに教えていただき、何とか今日、畑の全てが作物で埋め尽くされほっとしている。ジャガイモ、カボチャ、茶豆は収穫をすませ、トマト、ナス、ピーマンなどが最盛期を迎え毎日のようにセンターに運び、作りすぎと叱られている。サツマイモや蕎麦は間もなく収穫、冬には赤カブも漬物にする予定だ。
このように成果を振り返ると順調のようだが、失敗が多々あり、みなさんから多くのアドバイスを頂戴した。猪の侵入もあり、この野菜づくりを通して私自身学ぶことが多く、あらためて自然と対峙する暮らし体験の大切さを再認識することができた。
「凝り性で適当に誤魔化すことができない」という自分自身の短所、長所？を再認識できたことも大きな収穫だった。

統括主幹　山本光則